

事務事業名		吉浜漁港線道路新設・改良事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登録事業																									
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目																									
	施策名	良好な生活空間の創造				会計	款	項	目																						
	基本事業名	生活道路の整備				01	08	02	03																						
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ																											
所属	部課名	都市整備部建設課		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)																											
	課長名	菅原 博幸		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】																											
	係名	土木係	電話	0192-27-3111																											
	担当者	岡田 亮平	内線	313																											
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																											
津波により被災した吉浜漁港線(県道吉浜上荒川線から吉浜地区(字中井・字沖田・字川原・字横石)の農地内を通り増館地域へ連絡する市道)の整備を行う。 本事業の計画は延長1010m、幅員6.0mとする。				<table border="1"> <tr> <td rowspan="6">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>252,000</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>66,000</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>318,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>1,506</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>6,024</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>324,024</td> </tr> </table>				総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他	252,000	一般財源	66,000	事業費計(A)	318,000	人件費	正規職員従事人数	10	延べ業務時間	1,506	人件費計(B)	6,024	トータルコスト(A)+(B)		324,024
総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金																													
		都道府県支出金																													
		地方債																													
		その他	252,000																												
		一般財源	66,000																												
	事業費計(A)	318,000																													
人件費	正規職員従事人数	10																													
	延べ業務時間	1,506																													
	人件費計(B)	6,024																													
トータルコスト(A)+(B)		324,024																													
【計画期間】																															
・測量調査設計(1式) 平成24年度～平成25年度																															
・用地補償 平成26年度																															
・工事施工(L=800m) 平成26年度～平成27年度																															
・工事施工(L=460m) 平成28年度																															
事業費は、委託費、土地購入費、補償金、工事費、事務費として支出される。																															

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動)	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 用地買収面積</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>イ 施工延長</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 用地買収面積	m ²	イ 施工延長	m	ウ	
名称	単位								
ア 用地買収面積	m ²								
イ 施工延長	m								
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動)									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
市道吉浜漁港線 市道利用者	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 計画総延長</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>キ 主たる利用者数(漁家数×1人+三陸町吉浜字増館の住民)</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 計画総延長	m	キ 主たる利用者数(漁家数×1人+三陸町吉浜字増館の住民)	人	ク	
名称	単位								
カ 計画総延長	m								
キ 主たる利用者数(漁家数×1人+三陸町吉浜字増館の住民)	人								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
(市道吉浜漁港線が)整備される。 (市道利用者により安全に利用してもらう。)	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 十分な幅員で舗装された供用開始道路延長</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>シ 整備率(計画区間整備済延長/計画総延長)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 十分な幅員で舗装された供用開始道路延長	m	シ 整備率(計画区間整備済延長/計画総延長)	%	ス	
名称	単位								
サ 十分な幅員で舗装された供用開始道路延長	m								
シ 整備率(計画区間整備済延長/計画総延長)	%								
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
安全で快適に移動できる。									

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円			21,662	23,290	140,648	66,800
		一般財源	千円			5,415	5,823	35,162	19,200
	事業費計(A)		千円	0	0	27,077	29,113	175,810	86,000
	人件費	正規職員従事人数	人		2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間		190	196	600	400	120
		人件費計(B)	千円	0	760	784	2,400	1,600	480
		トータルコスト(A)+(B)		千円	0		27,861	31,513	177,410
⑤ 活動指標		ア	m ²	0	0	1,128	0	139	
		イ	m	0	0	800	0	460	
		ウ							
⑥ 対象指標		カ	m	800	800	800	800	460	
		キ	人	340	340	340	340		
		ク							
⑦ 成果指標		サ	m	0	0	0	800		
		シ	%	0	0	0	100		
		ス							

事務事業ID	1235	事務事業名	吉浜漁港線道路新設・改良事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	吉浜漁港線が津波により被災したことから、復興交付金申請を行い、平成24年度より事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	地域の理解が進み、協力的になった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	地域から、早期完成を強く要望されている。

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 整備により、安全・快適に利用できることで、都市環境の向上につながる。 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 被災した市道の整備であり、この事業により利用者が安全に利用できるようになるため、適切である。 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
工事 施工	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 十分な幅員で舗装された道路計画延長となっていることから、これ以上の成果向上余地为認められない。 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 安全で快適に利用できない。 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 個別事業であり、他に手段はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地はない。 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

事務事業ID	1235	事務事業名	吉浜漁港線道路新設・改良事業
--------	------	-------	----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者として 吉浜漁港線道路新設・改良事業</p> <p>① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>良好な事業実施がなされた。</p>																			
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>平成28年度事業完了に向け、事業を推進する。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		●	×	低下		×	×
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持		●	×																	
低下		×	×																	

(職名) ※原則として施策の主管課長	(氏名)
2次評価者	建設課長 菅原博幸

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>市 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>市 ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																				
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <p>① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p>																			
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		●	×	低下		×	×
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持		●	×																	
低下		×	×																	

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
